

大学進学にかかるお金や奨学金の返還の仕方など、奨学金に関する基礎知識が学べる
『FP が教える！親子で学ぶ！
進学にかかるお金と奨学金の話』10月2日刊行

日本FP協会(正式名称: 特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会理事長 白根壽晴)は、大学進学を考える高校生・在学中の大学生・保護者・学校関係者を対象に、入学前後から在学中にかかるお金の資金計画や奨学金に関する基本的な知識・情報をまとめた『進学にかかるお金と奨学金の話(B5判・12ページ)』を制作しました。

近年、日本では、奨学金を利用して学生生活を送る大学生が多くなってきています。2017年度から国の奨学金制度に「給付型」奨学金が導入されたものの、対象者や給付額が限られているため、貸与型奨学金を必要とする学生・保護者が多数います。

そこで、本冊子では、大学進学に必要なお金や貸与型・給付型奨学金制度の概要だけでなく、「奨学金の返還方法」についても詳細に説明しています。また、卒業後の収入が少ないケースや返還の負担が重いケースを取り上げ、「所得連動返還方式」や「繰上返還」を用いた返還シミュレーションについても紹介しています(詳細は、次頁をご確認ください)。

本冊子は、弊会の取り組みのひとつであるパーソナルファイナンス教育(金融経済教育)普及活動の一環として、主に高等学校・大学などでの使用を目的に制作しています。大学進学から奨学金の返還に至るまで、将来のライフプランを考えるうえで役立つ内容となっていますので、講義などでご活用いただけるのはもちろん、ご家庭でも親子で学べる内容となっています。



内容は、弊会ホームページで本日よりご覧いただけます。希望する学校へは、本冊子を無償提供します。なお、学校関係者以外の方がセミナーなどで使用する場合は、50部 1,080円(税込)で販売いたします。また、高校生・大学生・保護者の方もご利用いただけるよう期間限定(2017年12月20日まで)で1部単位での販売も行います。

内容については以下の URL をご参照ください。

http://www.jafp.or.jp/personal_finance/high/shougakukin/

※パーソナルファイナンス教育とは、人生の夢の実現をお金の面から考えていけるよう、一人ひとりの生き方にあつたお金の知識や活用方法を身に着けるための教育のことです。

日本FP協会は、社会教育活動としてファイナンシャル・プランニングの普及とパーソナルファイナンス教育を推進し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としたNPO法人です。また、パーソナルファイナンス教育の担い手となる高い能力と高い倫理観をもったファイナンシャル・プランナー(CFP®・AFP 認定者)を養成しています。

◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 金田・田和	TEL	03-5403-9739	FAX	03-5403-9795	E-mail	info@jafp.or.jp
----	------------------------	-----	--------------	-----	--------------	--------	-----------------

※ CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

特定非営利活動法人(NPO法人) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701
<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニュアルプレイス堂島5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

<冊子の概要>

名称：『FPが教える！親子で学ぶ！ 進学にかかるお金と奨学金の話』
 編集・発行：特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会
 販売価格 50部1,080円(税込) ※2017年12月20日までは、1部単位での販売も行います。
 サイズ：B5判
 頁数：12ページ
 発行：2017年10月2日

<構成>

1. 大学進学にかかるお金
 ○進学先別の学校納付金の平均額、大学生活で1年間にかかる金額 等
2. 奨学金制度の基本
 ○日本学生支援機構の奨学金の概要、その他の奨学金制度 等
3. 奨学金の返還方法
 ○日本学生支援機構の貸与奨学金の返還例、返還期限猶予制度、所得連動返還方式 等
4. ケーススタディでチェック！奨学金の返還方法
 ○所得連動返還方式、繰上返還での返還シミュレーション

1 大学進学にかかるお金

国公立か私立か、学部によっても進学費用は大きく違ってくる

高校卒業後の進学先を検討する際は、希望する学校や学部・学科ごとに、どれくらいの費用がかかるかを調べておくことが大切です。大学や専門学校では、入学案内などの資料に、入学や授業料などの学校納付金が紹介されています。入学年度が決定まで、その年の納付金が学校にかかるので覚えておきましょう。

具体的には国公立が私立よりも安く、私立が専門学校よりも高くなる傾向があります。また、私立大学の場合は、入学や授業料だけでなく、入学金や施設費などの学校納付金も必要です。また、専門学校の場合は、入学や授業料だけでなく、入学金や施設費などの学校納付金も必要です。

その他の経費が予想以上に掛かることに注意しましょう。私立大学1年目は入学金を含めた金額で、比較的負担が少ない文系学部でも、年100万円近くかかり、4年間で447万円、理系学部はこれより高く、毎年138万円です。4年間で557万円です。美術や音楽などの芸術系学部は4年間で600万円を超え、理系学部は5年間で3,000万円を超えます。また、専門学校も年額100万円くらいかかり、専門学校の場合は年間で1,000万円以上になります。

専門学校も学校や専攻で年額40万~300万円くらいと幅があり、平均では私立文系と同程度です。

●大学生生活で1年間にかかる金額

自宅生 429,600円

自給自足 12,542,000円

専攻別奨学金 271,200円

奨学金 107,240円

授業料 58万 1,200円

生活費 879,200円

学費 879,200円

その他 12,542,000円

●奨学金の学生

専攻別奨学金 271,200円

奨学金 107,240円

授業料 58万 1,200円

生活費 879,200円

学費 879,200円

その他 12,542,000円

4 ケーススタディでチェック！奨学金の返還方法

卒業後の収入が不安定なケース
→ 所得連動返還方式でコツコツ返す

年収200万円前後の場合、毎月の返還額は5,000円程度

私立大学で、第一種奨学金6万4,000円を4年間借りた下のケースでは、定期返還方式で返還すると、毎月の返還額は1万4,222円になります。

大学卒業後、契約社員や派遣社員、アルバイトなどで働く場合、収入が不安定で奨学金の返還が難しくなると、所得連動返還方式を遊ぶのも一つの方法です。

大学院まで進み、借入額が多いケース
→ 繰上返還で早めの完済をめざす

貯蓄に頼んで、3回の繰り上げで大学奨学金の返還期間は約半分

大学4年制と大学院2年制で、第二種奨学金を借りた下のケースは、2つの奨学金の貸付総額が600万円以上で、毎月の返還額は43万2,165円になります。

毎月の返還額が多めですが、大学院卒の場合、正社員で就職すると収入は中や高くなることもあるため、期間に返還できる人も多いでしょう。余裕があれば、繰上返還で返還期間を短くすることができます。

繰上返還とは、当月の返還とは別に貸付額を返すことです。繰上返還は早く行うほど、金額が多ければ、返還期間が短くなります。右下の表とグラフは、3年(34回)おきに2つの奨学金に合計で約100万円の繰上返還を行った場合の試算です。右下の表とグラフは、3年(34回)おきに2つの奨学金に合計で約100万円の繰上返還を行った場合の試算です。

●貸与額(第一種) (私立大学・自宅生)

返済期間	返済回数	返済総額
1年	12回	2,111円 (1,266円)
2~3年	36回	3,823円 (2,468円)
4~5年	60回	5,823円 (3,746円)
6~7年	84回	8,223円 (5,246円)
8~9年	108回	11,223円 (7,246円)
10~11年	132回	14,723円 (9,746円)
合計	312回	37万7,200円

●繰上返還方式の場合

返済期間	返済回数	返済総額
1年	12回	2,111円 (1,266円)
2~3年	36回	3,823円 (2,468円)
4~5年	60回	5,823円 (3,746円)
6~7年	84回	8,223円 (5,246円)
8~9年	108回	11,223円 (7,246円)
10~11年	132回	14,723円 (9,746円)
合計	312回	37万7,200円

●所得連動返還方式の返し方 (大学卒業後に返還するケース)

年収が増減すると毎月の返還額も増えたり減ったりする

返還完了15年(216回)

返還完了10年(132回)

●繰上返還を3回行った場合 (大学卒業後に返還するケース、グラフは2つの奨学金を合わせたもの)

1回目の繰上返還 3年目(36回)に約100万円

2回目の繰上返還 6年目(72回)に約100万円

3回目の繰上返還 9年目(108回)に約100万円

元金(奨学金の残高)

返還完了9年(108回)

返還完了10年(132回)

返還完了10年(132回)

弊会では、本冊子以外にも各ライフステージに合わせた金融経済教育用小冊子の制作を行っています。

- ・『10代から学ぶパーソナルファイナンス』
- ・『学生生活マネー&キャリア お役立ちハンドブック!』
- ・『若手社会人のマネー&ライフプラン お役立ちハンドブック!』 等

各冊子の詳細は、日本FP協会ホームページをご参照ください。→ <http://www.jafp.or.jp/book/app/finance/>